

近衛府下級官人補任稿（3）

— 将監 —

〔抄録〕

本稿は、天平神護元年（七六五）から十三世紀半ばの期間における近衛府の将監・将曹・医師・府生・番長・案主・府掌・近衛の官人の補任状況を調査・整理したものの一部である。

一部の近衛府官人の補任状況はすでにまとめられているが、本補任「稿」は既存の補任類の欠を補い、研究の進展の助けとなる

ことを目指している。本稿では、近衛府下級官人補任「稿」全体のうち、建久四年（一一九三）から仁治三年（一二四二）の期間の将監の補任状況をまとめている。

キーワード 鎌倉期、近衛府、下級官人、補任

のご批正を乞い、更なる充実、確実性を高めていきたい。

一、近衛府下級官人補任稿について

近衛府下級官人補任稿は、近衛府が成立した天平神護元年（七六五）から十三世紀半ばの期間における近衛府下級官人（将監・将曹・医師・府生・番長・案主・府掌・近衛^①の官人のうち、確認できうる補任状況を調査・整理したものである。すでに一部は公表しており^②、本稿では建久四年（一一九三）から仁治三年（一二四二）までの近衛府将監在職者を掲載する^{③④}。

既発表分の訂正、追加も含め、補任表の内容については今後も大方

二、凡例

①本補任表は左右近衛府のうち（表①）、将監・将曹・医師・府生・番長・案主・府掌・近衛の官人の補任状況を官職ごとの項目に記したものである。そのうち本稿は、建久四年（一一九三）～仁治三年（一二四二）の期間における将監在職者をまとめている。

②左右近衛府いずれかに所属しているが不詳の場合は、「左右不詳」の項目に記した。

③人物の表記について、位階が明らかである場合は「内に記載し、位階が不明の場合は」と記載した。加階の記述がある場合は加階後の位階を記載、備考にその内容を記載した。近衛府府生以下には、本来相当位階の規定は設けられていないが同様に記載した。

④在職である、「或」いはそう思われる場合は「在」、新たに任じられた場合は「任」、すでに死去していることが明らかである場合は「故」を備考欄内の先頭に記載した。

⑤兼官、兼職がある場合は備考に記載した。その他必要と思われる事項を備考欄に記載した。

⑥出典の記載は(『史料名』年月日)で示し、閏月は○枠で示した。基本的にその年の初見月日を記載したが、初見月日以降より詳細な所属、経歴などの記述が確認できる場合はその月日を記載した。

⑦それぞれの出典は()内に記載し、また一部の史料名については次の通り略記した。なお、史料のうち古記録史料の名称については、大日本古記録、史料大成、史料纂集収録の古記録については、それぞれの名称をそのまま記載したが、『群書類従』、『歴代残闕日記』、そのほか史料紹介などに収録、掲載されている古記録については、同一人物の日記でも、日記の名称がそれぞれ異なる場合が多い。そのため便宜的に記主の名前を冠して『○○卿記』、『○○公記』と記載した。また、史料の出典も同様に記載した。

略記一覧…『東大寺統要録』(『統録』)、『続左丞抄』(『左丞』)、『樂所補任』(『樂所』)、『大間成文抄』(『大間』)、『仙洞御移徙部類記』(『移徙』)、『御讓位記』(『讓位』)、『九条家本紙背文書集 中右記』(『九

中』)、『九条家本紙背文書集 中右記』(『九中』)、『明月記』(『明月』)、『三長記』(『三長』)、『葉黄記』(『葉黄』)、『猪隈関白記』(『猪隈』)、『岡屋関白記』(『岡屋』)、『民経記』(『民経』)、『平戸記』(『平戸』)、『経俊卿記』(『経俊』)、『妙槐記』(『妙槐』)、『吾妻鏡』(『吾妻』)

⑧表作成にあたって、笹山晴生「左右近衛府官人・舍人補任表―下級官人・舍人その(一)―」(『東京大学教養学部人文学科紀要』六一、一九七五)、「左右近衛府官人・舍人補任表―下級官人・舍人その(二)―」(『東京大学教養学部人文学科紀要』六六、一九七八)も参照した。

⑨人物比定について、刊本史料上では、姓或いは名が同名同音の場合、人物の混同が考えられる事例がみられる。このような場合や姓名いずれかの記載が無い場合などは、編纂者によって人物ならびに姓名の同定・推定がなされているが、疑問無しとしない部分もある。本補任「稿」では『群書類部集』⁽⁵⁾、『樂家系図』⁽⁶⁾および京都大学附属図書館所蔵『下毛野氏系図』・『秦氏系図』所収の諸氏系図、『平安時代史事典』⁽⁷⁾も参照し姓名の推定を行い、備考欄にその旨を記載した。

⑩史料上、「○○子」、「○○男」と表記され、人物比定が困難なものは、人物欄中に「○○子」と統一して表記した。

⑪人物によつては数年以上にわたり近衛府官職に在職していることが確認できるが、その間一部の年において人名の記載は有るものの官職が確認できない例が散見される。この事例においては、前後の時

期における在職状況から官職の推定は可能である。しかし十二世紀後期には、同一の近衛府下級官人が降格・昇進を繰り返す事例も一部見受けられるようになるため、本補任「稿」では採録していない。

⑫将監について、史料上「左近大夫」・「右近大夫」と「大夫将監」という表記がみられる。前者は、叙爵後将監を離職した者、後者は叙爵後も在職している者を指すと理解される。ただし厳密に両者を区別しにくい事例も数例みられるため、便宜上両者ともに採録した。

[注]

(1) 本補任稿では、将監以下の近衛府官人を近衛府の下級官人と区分している。この区分は笹山氏による近衛府大将・中将・少将を上級官人、近衛府将監以下を下級官人とする理解に従ったものである。詳しくは、笹山晴生「平安前期の左右近衛府に関する研究」(坂本太郎博士還暦記念会編『日本古代史論集』下所収、吉川弘文館、一九六二)、同「左右近衛府上級官人の構成とその推移」(土田直鎮先生還暦記念会編『奈良平安時代史論集』下所収、吉川弘文館、一九八四、以上『日本古代衛府制度の研究』(東京大学出版会、一九八五)に再収)を参照。

(2) 近衛府官人の補任状況をまとめたものとして、市川久編『近衛府補任第二』(統群書類従完成会、一九九二)、同『近衛府補任 第二』(統群書類従完成会、一九九三)、笹山晴生「左右近衛府官人・舍人補任表——下級官人・舍人その(一)——」(『東京大学経学部人文科学紀要』六十一、一九七五)、同「左右近衛府官人・舍人補任表——下級官人・舍人その(二)——」(『東京大学経学部人文科学紀要』六十六、一九七八)がある。本補任「稿」は、これらの補任類の欠を補

うかたちで作成している。

(3) 拙稿「近衛府下級官人補任稿(1)」(『佛教大学大学院紀要——文学研究科篇——』四六、二〇一八)、「近衛府下級官人補任稿——府生——(1)」(『鷹陵史学』四四、二〇一八)、「近衛府下級官人補任稿——将監——(2)」(『佛教大学大学院紀要——文学研究科篇——』四七、二〇一九)、「近衛府下級官人補任稿——府生——(2)」(『鷹陵史学』四五、二〇一九)

(4) 近衛府下級官人補任表の作成意図ならびに近衛府や近衛府下級官人に関する先行研究は、註(3) 拙稿において言及しているため、そちらを参照されたい。

(5) 『群書類目部集』一七七(統群書類従完成会、一九七三)。

(6) 『楽家系図』(伏見宮旧蔵楽書集成 三)所収、宮内庁書陵部、一九九八。

(7) 『平安時代史事典』(角川書店、一九九四)。

(に)しやま しろう 文学研究科歴史学専攻博士後期課程

(指導教員…佐古 愛己 准教授)

二〇一九年九月三十日受理

9～12c における左右近衛府官制表						
表①	官職	総称	相当位階	左右合計員数	隨身・権隨身	楽人・舞人
区分	大將	—	正・従二位 (従三位)	2 (2)	—	年預
上級職	中將	—	正三位～従四位 (従四位下)	2～6 (2)		庁頭
	少將	次將	従四位下～従五位 (正五位下)	4～8 (4)		
下級職	將監	官人	従五位～正六位 (従六位上)	8～ (8)	○	○
	將曹	官人	従五位～従七位 (従七位下)	16～ (8)	○	—
	医師	—	従五位～正六位 (正八位)	1～ (2)	—	—
	府生	官人	正六位上～従七位	20～ (12)	○	○
	番長	物節	—	13～ (12)	○	—
	案主			4～	—	
	府掌			5～	○	
駕輿丁 使部 直丁	近衛	—	従八位～大初位・无位	27～ (400)	○	—
	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	

・左表は『近衛府補任』、『公卿補任』、各古記録、笹山晴生氏『日本古代衛府制度の研究』(東京大学出版会、1985)、古藤真平『中衛府・近衛府官員制度の再検討』(角田文衛先生尊寿記念会編『古代世界の諸相』、晃洋書房、1993所収)を参照して作成した。

・区分の項については、笹山氏(上掲)の近衛府内における官職格差に関する理解に従って区分している。

・位階および左右合計員数項については史料から確認できる最低限の人数を記載し、また左右合計員数については史料から確認できる最低限の人数を記載した。

・() 内は、古藤氏(上掲)が復元された弘仁格式制時の左右近衛府の官員制を参照した。

・なお、9c以前の近衛府官職のうち、案主は長徳4年(998)に、府掌は元慶5年(881)にみえるのが史料上での初見である。

・総称の項は、各古記録において近衛府の各職がそれぞれのように総称されていたかを記載した。詳しくは吉川真司編『京都大学文学部博物館の古文書：第4輯 勅修寺家本職掌部類』(思文閣出版、1989)、佐々木恵介『『小右記』にみる摂関期近衛府の政務運営』(同『日本古代の官司と政務』、吉川弘文館、2018、初出1993)を参照。

・隨身、楽人・舞人、年預、庁頭の項については、近衛府官人が兼帯する職務の有無について示した。

左右近衛府將監						
和暦(西暦)	左近衛將監	備考・出典	右近衛將監	備考・出典	左右不詳	備考・出典
建久4年(1193)	始則近〔從五位下〕	在：〔〔樂所〕〕/〔〔慈親〕〕につくる。〔〔玉葉〕〕 建久4・4・20)	多好方〔從五位下〕	在：〔〔樂所〕〕/〔〔玉葉〕〕 建久4・4・20)		
	大友能直〔一〕	在：〔〔吾妻鏡〕〕 建久4・3・13)	豊原利秋〔一〕	在：〔〔樂所〕〕		
	井澤家景〔一〕	在：〔〔吾妻鏡〕〕 建久3・7・24)	多近久〔一〕	在：〔〔樂所〕〕		
			大神宗賢〔一〕	在：〔〔樂所〕〕		
			多好節〔一〕	在：鶴岡八幡宮において御神樂あるにより鎌倉へ参向す。〔〔樂所〕〕/〔〔吾妻〕〕 建久4・10・7)		
建久5年(1194)			多節近〔一〕	在：〔〔樂所〕〕		
			大江久家〔一〕	在：多好方に神樂秘曲伝授を請う。〔〔吾妻鏡〕〕 建久4・7・18)		
	始則近〔(五位)〕	在：興福寺供養の時、賞を蒙る。〔〔樂所〕〕/〔〔玉葉〕〕 建久5・2・27/左一者。〔〔玉葉〕〕 同5・3・10)	多好方〔(五位)〕	在：興福寺供養の時、賞を蒙る。〔〔樂所〕〕/〔〔玉葉〕〕 建久5・2・27/右一者。〔〔玉葉〕〕 同5・3・10)		
	中臣近武〔一〕	在：〔〔玉葉〕〕 建久5・4・17)	豊原利秋〔一〕	在：〔〔樂所〕〕		
	大友能直〔一〕	在：〔〔吾妻鏡〕〕 建久5・5・24)	多近久〔一〕	在：〔〔樂所〕〕		

	井澤家景〔一〕	在：〔吾妻鏡〕建久5・6・25)	大神宗實〔一〕	在：〔梁所〕		
			多好方〔一〕	在：〔梁所〕/〔玉葉〕建久5・3・10)		
			多節近〔一〕	在：〔梁所〕/〔同上〕		
			大江久家〔一〕	在：〔吾妻鏡〕建久5・11・4)		
	拍則近〔五位〕	在：九条兼実の競馬、東大寺供養の時、賞を蒙る。〔梁所〕	多好方〔五位〕	在：〔梁所〕	(姓不詳) 資清〔一〕	在：〔三長〕建久6・12・6)
	藤原隆兼〔五位〕	在：左近大夫。〔三長〕建久6・8・15)	豊原利秋〔一〕	在：〔梁所〕		
	平実繁〔一〕	在：〔縁鏡〕東大寺供養事建久記	大神宗實〔一〕	在：〔梁所〕		
	源盛長〔一〕	在：〔同上〕	藤原重光〔一〕	在：〔三長〕建久6・8・15)		
	藤原清成〔一〕	在：〔同上〕	平宗高〔一〕	在：〔縁鏡〕東大寺供養事建久記		
	源俊実〔一〕	在：〔同上〕	源俊親〔一〕	在：〔同上〕		
	三善良国〔一〕	在：〔同上〕	平親繁〔一〕	在：〔鷹紫〕につくる。〔同上〕		
	内藤盛家〔一〕	在：〔吾妻〕建久6・2・5)	藤原保孝〔一〕	在：〔同上〕		
	大友能直〔一〕	在：〔吾妻〕建久6・3・29)				
	井澤家景〔一〕	在：奥州惣奉行。〔吾妻〕建久6・9・29)				
	拍則近〔五位〕	在：〔梁所〕	多好方〔五位〕	在：〔梁所〕		
	源仲能〔正六位上〕	任：参議源兼忠建久元年給、五節舞姫を献ずるにより子息仲能の中務丞并左右近将監兼任を就む。〔大間〕第六〔京官二台〕	豊原利秋〔一〕	在：〔梁所〕		
	中臣近武〔一〕	在：〔明月〕建久7・4・24)	大神宗實〔一〕	在：〔梁所〕		
			藤原季遠〔正六位上〕	任：右近将監大中臣景康伊勢神宮運営用縁料を連納するも病のため不仕たるにより季遠に功を譲るにより右近将監に任ず。〔大間〕第七〔所々奏〕		
			藤原兼範〔六位〕	在：藏人。〔明月〕建久7・4・25、〔三長〕同7・11・22)		
			大江久家〔一〕	任：追贈の除目において右近将監に任ず。〔三長〕建久7・12・29)		
			中原(名不詳)〔正六位上〕	在：兼右少史。〔左丞〕第一 大政官藤大吉(祥院)		
	拍則近〔五位〕	在：朝敵行幸の時、賞を蒙る。〔梁所〕/ 朝敵行幸において一階を賜う。〔玉葉〕建久8・4・22)	多好方〔五位〕	在：〔梁所〕		
	平棟基〔正六位上〕	在：藏人。〔玉葉〕建久8・4・22、〔藏人〕	豊原利秋〔一〕	在：〔梁所〕		
	中臣近武〔一〕	在：〔猪隈〕建久8・10・17)	大神宗實〔一〕	在：〔梁所〕		
	拍則近〔五位〕	在：4月、死去。一者16年を務める。〔梁所〕	多好方〔五位〕	在：〔梁所〕/〔猪隈〕建久9・3・30)	中臣宗綱〔一〕	在：中臣近武不参により本府より進む。〔藤原宗綱〕の誤りか。〔猪隈〕建久9・1・20)
	拍光重〔一〕	在：左一者。〔梁所〕/〔猪隈〕建久9・3・30/左近衛将尉射荒手結・真手結に載る。〔猪隈〕同9・5・3、5・5)	豊原利秋〔一〕	在：〔梁所〕/〔猪隈〕建久9・3・30/左近衛将尉射荒手結・真手。左近か。〔猪隈〕同9・5・3)	藤原宗綱〔一〕	在：仮隨身。〔猪隈〕建久9・4・17)
	藤原忠綱〔一〕	在：院判官代。〔三長〕建久9・1・21/〔右近将監〕。〔明月〕同9・2・14)	大神宗實〔一〕	在：〔梁所〕/〔猪隈〕建久9・3・30)		
	大江泰重〔一〕	任：除目において「得長寿院功」により左近将監に任ず。〔三長〕「明月」建久9・1・30)	源親盛〔一〕	任：除目において府奏により右近将監に任ず。〔三長〕「明月」建久9・1・30)		

																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			</
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

	藤原親俊 (―)	任：除目において「臨時内給」により、左近将監に任ず。(「明月」元久2・11・30)	中原節明 (―)	任：祭除目において「日吉神宝功」により、右近将監に任ず。(同上)		
	播磨實	任：除目において「臨時内給」により、左近将監に任ず。(同上)	中原弘高 (―)	任：除目において侍奏により、右近将監に任ず。あるいは「以高」か。(「明月」元久2・11・30)		
	藤原義忠 (―)	任：除目において侍奏により、左近将監に任ず。(同上)	源光能 (―)	任：除目において「臨時」により、右近将監に任ず。(同上)		
	小澤信重 (―)	任：「音楽」元久2・11・3)	源出家 (―)	任：除目において「藤有能源外記局文藏造進功」により、右近将監に任ず。(同上)		
建永元年 (1206)	拍則房 (―)	任：「(楽所)」	多好方 (五位)	在：「(楽所)」		
	平親衡 (―)	任：「齋院功」により左近将監に任ず。(「三長」建永1・2・22)	豊原利秋 (五位)	在：「(楽所)」		
	平盛家 (―)	任：臨時除目において「齋院補設功」により左近将監に任ず。(「三長」建永1・4・11)	大神宗賢 (従五位下)	在：「(楽所)」		
	中原知国 (―)	任：臨時除目において「本院築垣功」により左近将監に任ず。(同上)	大神宗賢 (―)	任：10月、除目の時、右近将監に任ず。承元3年、左衛門少将に任ず。(「楽所)」		
			藤原遠重 (―)	任：「造紫野院屋功」により右近将監に任ず。(「三長」建永1・2・22)		
			藤原康経 (―)	任：臨時除目において「齋院相嘗功」により右近将監に任ず。(「三長」建永1・4・11)		
			惟宗親盛 (―)	任：臨時除目において「修理申賀茂神館功」により左近将監に任ず。(同上)		
			多忠成 (―)	故：先日、兄弟景節に殺害される。(「猪腰」建永1・10・3)		
承元元年 (1207)	拍則房 (―)	任：11月、散手貫を襲る。(「楽所)」	多好方 (五位)	在：11月、最勝四天王院供養の時、掛飲酒貫を襲る。(「楽所)」		
			豊原利秋 (五位)	在：貫を襲る。(「楽所)」		
			大神宗賢 (従五位下)	在：「(楽所)」		
			(姓不詳) 風光 (―)	在：「(明月)」承元1・10・5)		
	拍則房 (―)	任：「(楽所)」	多好方 (五位)	在：「(楽所)」		
	拍近房 (―)	任：正月、除目の時、左近将監に任ず。(「(楽所)」	豊原利秋 (五位)	在：「(楽所)」		
承元2年 (1208)	藤原清範 (―)	任：藏人。(「明月」承元2・1・1) / 藏人。(「猪腰」同2・1・18)	大神宗賢 (従五位下)	在：「(楽所)」		
	藤原カ家綱 (―)	任：「(明月)」承元2・3・13)	大神式賢 (―)	任：父大神宗賢の将監退くの諷りにより右近将監に任ず。(「楽所)」		
	平惟康 (―)	任：北野祭使。(「猪腰」承元2・8・4)	多好氏 (―)	任：祖父多好方の将監退くの諷りにより右近将監に任ず。もと右兵衛尉。(「楽所)」		
	拍則房 (―)	故：8月、所労により出家。9月、死去。一各9年。(「楽所)」	多好方 (五位)	在：「(楽所)」		
承元3年 (1209)	拍光真 (―)	在か：「(楽所)」	豊原利秋 (五位)	在：「(楽所)」		
	拍光真 (―)		大神宗賢 (従五位下)	在：「(楽所)」		
承元4年 (1210)	拍光真 (―)	任：「(楽所)」	多好方 (五位)	在：「(楽所)」		
	(姓不詳) 信経 (―)	任：「左近大夫」。(「修門院熊野御幸記」承元4・5・12)	豊原利秋 (五位)	在：「(楽所)」		
					源親広 (五位)	在：「源大夫将監」。(「音楽」承元4・6・8)

	源實國〔六位〕	在：新羅王御門上皇殿上人となす。六位朝臣代。〔讓位〕承元4・11・25)	大神宗實〔從五位下〕	在：〔樂所〕			
	〔姪不詳〕重政〔五位〕	在：〔左近大夫〕。〔樂實〕宝治2・8・1)					
	藤原家綱〔一〕	在：〔左近大夫將監〕。〔古事類〕卷六 二八)	多好方〔五位〕	故：6月死去。一者22年。〔樂所〕			
	柏光真〔五位〕	在：左一者。正月、朝興行幸の時、一階を賜る。〔猪隈〕建暦1・1・19、〔樂所〕)	多近久〔五位〕	在：舞道・神樂道秘曲を知らずといえども一者となす。〔樂所〕			
建暦元年(1211)	〔姪不詳〕兼宣〔五位〕	在：左近大夫。〔明月〕建暦1・9・22)	豊原利秋〔五位〕	在：〔樂所〕			
	藤原清房〔一〕	在：藏人。〔猪隈〕建暦1・3・18)	大神宗實〔從五位下〕	在：〔樂所〕			
			大江親広〔五位〕	在：〔江大夫將監〕。〔吾妻〕建暦1・1・1)			
	豊原忠秋〔一〕	在：豊原利秋養子。〔樂所〕	豊原利秋〔五位〕	故：正月出家、10月死去。〔樂所〕			
	〔姪不詳〕康房〔一〕	在：〔明月〕建暦2・2・17)	多久行〔一〕	任：4月、除目の時、祖父多近久將監を退くの譲りにより右近將監に任ず。〔樂所〕			
	惟宗広實〔一〕	任：除目において「大嘗会御殿木工築功」により左近將監に任ず。〔明月〕建暦2・12・24)	三善景清〔一〕	任：除目において「法勝寺御仏修理功」により右近將監に任ず。〔明月〕建暦2・12・24)			
	藤原盛造〔一〕	任：除目において「大嘗会主基所功」により左近將監に任ず。〔同上〕	大江宗俊〔一〕	任：除目において「大嘗会主基所功」により右近將監に任ず。〔同上〕			
	清原季俊〔一〕	任：除目において「刑部丞保信止所帯」により左近將監に任ず。〔同上〕	藤原康能〔一〕	任：除目において「法勝寺御仏功」により右近將監に任ず。〔同上〕			
			中原友長〔一〕	任：除目において法勝寺御仏功により右近將監に任ず。〔同上〕			
			平宗茂〔一〕	任：除目において「法勝寺九重塔功」により右近將監に任ず。〔同上〕			
	柏光真〔五位〕	在：左一者。3月、朝興行幸において賀殿賞を、九重御塔供養において万歳賞を蒙る。〔樂所〕	多近久〔五位〕	故：右一者。号樂判官。鳥羽殿朝興行幸において、長保樂賞を蒙る。〔樂所〕	藤原カ家綱〔五位〕	在：大夫將監。〔明月〕建保1・7・12)	
	〔姪不詳〕康房〔一〕	在：〔明月〕建保1・11・21)	大神宗實〔從五位下〕	在：〔樂所〕			
	豊原忠秋〔一〕	在：〔樂所〕	〔姪不詳〕広行〔一〕	在：〔明月〕建保1・11・28)			
	美作朝親〔五位〕	在：〔左近大夫〕。〔吾妻〕建保1・1・2)					
	佐々木信綱〔一〕	在：〔吾妻〕建保1・1・2)					
	新野景直〔一〕	在：〔吾妻〕建保1・5・2)					
	柏光真〔五位〕	在：左一者。七條殿御塔供養において太平樂賞を蒙る。〔樂所〕	大神宗實〔五位〕	在：〔樂所〕			
	建保2年(1214)	佐々木信綱〔一〕	在：〔吾妻〕建保2・1・22)	豊原忠秋〔一〕	在：〔樂所〕		
	美作朝親〔五位〕	在：〔左近大夫〕。〔吾妻〕建保2・7・27)					
	柏光真〔五位〕	在：左一者。〔樂所〕	大神宗實〔從五位下〕	故：6月死去。〔樂所〕	柏定近〔一〕	任：正月、除目下名において、一者柏光真の法勝寺九重御塔供養賀殿賞の譲りにより將監に任ず。〔樂所〕	
			多好節〔五位〕	在：右一者。〔樂所〕			
	建保3年(1215)			豊原忠秋〔一〕	在：〔樂所〕		
	建保4年(1216)	豊原忠秋〔一〕	在：〔樂所〕	多好節〔五位〕	在：右一者。〔樂所〕		
		佐々木信綱〔一〕	在：〔吾妻〕建保4・7・29)				
	建保5年(1217)	柏光真〔五位〕	在：左一者。〔樂所〕	多好節〔五位〕	故：右一者。〔樂所〕		

	豊原忠秋 (一)	在：〔(築所)〕	多好氏 (一)	在：右一者。〔(築所)〕		
	柏光真 (五位)	在：左一者。〔(築所)〕	多好氏 (一)	在：右一者。〔(築所)〕/〔「順徳」建保6・12・22〕	柏近真 (一)	任：正月除目の時、敏達身院御業の時、賞を蒙るにより侍監に任ず。〔(築所)〕
建保6年(1218)	豊原忠秋 (一)	在：〔(築所)〕			中原成能 (一)	在：源実朝任大将拝賀のため朝間八幡宮参拝行列の一員となす。〔(吾妻) 建保6・6・27〕
	美作朝親 (五位)	在：〔左近大夫〕。〔(吾妻) 建保6・6・27〕				
	大江季光 (五位)	在：〔左近大夫〕。(同上)				
	〔姓不詳〕光助 (一)	在：〔(吾妻) 建保6・9・29〕				
承久元年(1219)	柏光真 (五位)	在：左一者。〔(築所)〕	大神景基 (一)	在：右近侍監に任ず。〔(築所)〕	中原成能 (一)	在：源実朝任右大臣拝賀のため朝間八幡宮参拝行列の一員となす。〔(吾妻) 承久1・1・27〕
	豊原忠秋 (一)	在：〔(築所)〕	多好氏 (一)	在：右一者。〔(築所)〕		
	美作朝親 (五位)	在：〔左近大夫〕。〔(吾妻) 承久1・1・27〕	藤原近仲 (一)	故：仁寿殿に罷り自殺。〔(吾妻) 承久1・7・25〕		
	柏光真 (五位)	在：〔(築所)〕/内教坊検校别当。〔「玉蕊」承久2・3・25、〔左丞〕 第三 定文書様〕	源敦賢 (一)	在：膳射射手習礼。〔「玉蕊」承久2・3・13〕		
承久2年(1220)	豊原忠秋 (一)	在：薰儀2年、死去。〔(築所)〕	〔姓不詳〕藤原 (一)	在：膳射習礼奏取次。(同上)		
	源重房 (一)	在：膳射射手習礼。〔「玉蕊」承久2・3・13〕				
	〔姓不詳〕信広 (一)	在：膳射習礼奏取次。(同上)				
	源盛忠 (一)	在：内實殿検校别当。〔「玉蕊」承久2・3・25、〔左丞〕 第三 定文書様〕				
承久3年(1221)	柏光真 (五位)	在：左一者。〔(築所)〕	多好氏 (一)	在：〔(築所)〕		
	豊原忠秋 (一)	在：〔(築所)〕	金子 (名不詳) (一)	在：〔(吾妻) 承久3・6・18〕		
	尾藤景綱 (一)	在：〔(吾妻) 承久3・5・22〕	志水 (名不詳) (一)	在：(同上)		
	安藤 (名不詳) (一)	在：(同上)	中村 (名不詳) (一)	在：(同上)		
	叔加澤 (名不詳) (一)	在：〔(吾妻) 承久3・6・18〕				
	藤 (名不詳) (一)	在：(同上)				
	小手 (名不詳) (一)	在：(同上)				
	内藤盛家 (一)	在：(同上)				
	内記 (名不詳) (一)	在：(同上)				
	松野 (名不詳) (一)	在：(同上)				
貞応元年(1222)	佐伯 (名不詳) (一)	在：(同上)				
	飯田 (名不詳) (一)	在：(同上)				
	藤原光實 (正六位上)	在：女工所内侍以下相折および雑器など進納により、任左右衛門尉の申請する。〔(民経) 寛治三年正月記紙背文書〕	多好氏 (從五位下)	在：右一者。正月、高陽院朝觀行幸において、胡狄直眞を蒙る。〔(築所)〕		
	柏光真 (五位)	在：左一者。正月、高陽院朝觀行幸において、万歳樂賞を蒙る。〔(築所)〕	大野 (名不詳) (一)	在：〔「新右近侍監」。〔(吾妻) 貞応1・12・13〕		
貞応2年(1223)	豊原忠秋 (一)	在：〔(築所)〕	多好氏 (五位)	在：〔大夫〕とあり。〔(築所)〕		
	柏近房 (一)	在：〔(築所)〕	大神式實 (一)	在：〔(築所)〕		
	豊原忠秋 (一)	在：〔(築所)〕	多久行 (一)	在：〔(築所)〕		
	柏定近 (一)	在：〔(築所)〕	大神景基 (一)	在：〔(築所)〕		

	<p>拍近真〔五位〕</p> <p>在：〔実所〕</p>	<p>多好繼〔一〕</p> <p>在：承元4年時、右兵衛尉。右近将監に任ず。〔実所〕</p>	
	<p>遠藤為俊〔一〕</p> <p>在：〔吾妻〕貞応2・7・9)</p>		
	<p>拍近真〔五位〕</p> <p>在：〔近実〕につくる。左一者。〔実所〕</p>	<p>多好氏〔五位〕</p> <p>在：右一者。〔実所〕</p>	
	<p>豊原忠秋〔一〕</p> <p>在：〔実所〕</p>	<p>大神式賢〔一〕</p> <p>在：〔実所〕</p>	
	<p>尾藤景綱〔一〕</p> <p>在：〔吾妻〕元仁1・6・28)</p>		
	<p>関実忠〔五位〕</p> <p>在：〔左近大夫将監〕。(同上)</p>		
	<p>大江佐房〔五位〕</p> <p>在：〔吾妻〕元仁1・⑦・28)／〔左近大夫将監〕。〔吾妻〕同1・12・19)</p>		
	<p>藤原範昌〔一〕</p> <p>在：藏人。〔明月〕嘉禄1・11・8)</p>	<p>多好氏〔五位〕</p> <p>在：右一者。〔実所〕</p>	<p>中原祐重〔一〕</p> <p>任カ：和泉大掾。功により任左右近将監を申請する。〔九中〕257)</p>
	<p>源名〔一〕</p> <p>在：功により任左右衛門尉を申請する。〔九中〕257)</p>	<p>大神式賢〔一〕</p> <p>在：〔実所〕</p>	<p>藤原範重〔一〕</p> <p>任カ：丹後少掾。功により任左右近将監を申請する。〔同上〕</p>
	<p>藤原祐時〔一〕</p> <p>在：功により任左右衛門尉を申請する。〔同上〕</p>		<p>紀宗平〔一〕</p> <p>任カ：臨時内給により任左右近将監を申請する。〔同上〕</p>
	<p>拍近真〔五位〕</p> <p>在：〔近実〕につくる。左一者。〔実所〕</p>		<p>源俊綱〔一〕</p> <p>任カ：源成卿の譲りにより任左右近将監を申請する。〔同上〕</p>
	<p>豊原忠秋〔一〕</p> <p>在：〔実所〕</p>		
	<p>三条親実〔五位〕</p> <p>在：〔左近大夫将監〕。〔吾妻〕嘉禄1・1・8)</p>		
	<p>大江佐房〔五位〕</p> <p>在：〔左近大夫将監〕。〔吾妻〕嘉禄1・12・20)</p>		
	<p>遠藤為俊〔一〕</p> <p>在：〔吾妻〕嘉禄1・12・20)</p>		
	<p>中原景康〔一〕</p> <p>在：關東に下向し、鎌倉一者となる。後、左近将監に任ず。〔実所〕</p>	<p>藤原貞家〔一〕</p> <p>任：小除目において右近将監に任ず。〔民経〕嘉禄2・7・24)</p>	
	<p>中原信重〔一〕</p> <p>在：文屋氏女等田地売券に加署す。〔九条家文書〕819)</p>	<p>源行忠〔一〕</p> <p>任：小除目において右近将監に任ず。〔同上〕</p>	
	<p>中原盛秀〔一〕</p> <p>任：小除目において左近将監に任ず。〔民経〕嘉禄2・7・24)</p>	<p>藤原有実〔一〕</p> <p>任：小除目において右近将監に任ず。〔同上〕</p>	
	<p>源頼久〔一〕</p> <p>任：小除目において左近将監に任ず。〔同上〕</p>	<p>藤原定国〔一〕</p> <p>任：小除目において右近将監に任ず。〔同上〕</p>	
	<p>中原末光〔一〕</p> <p>任：小除目において左近将監に任ず。〔同上〕</p>	<p>惟宗景範〔一〕</p> <p>任：小除目において右近将監に任ず。〔同上〕</p>	
	<p>平貞範〔一〕</p> <p>任：小除目において左近将監に任ず。〔同上〕</p>	<p>藤原頼信〔一〕</p> <p>任：小除目において右近将監に任ず。〔同上〕</p>	
	<p>源宗遠〔一〕</p> <p>任：小除目において左近将監に任ず。〔同上〕</p>	<p>藤原久重〔一〕</p> <p>任：小除目において權奥礼服功により右近将監に任ず。〔民経〕嘉禄2・8・14)</p>	
	<p>惟宗久家〔一〕</p> <p>任：小除目において左近将監に任ず。〔同上〕</p>	<p>大中臣末利〔一〕</p> <p>任：小除目において臨時内給により右近将監に任ず。〔同上〕</p>	
	<p>藤原相景〔一〕</p> <p>任：小除目において左近将監に任ず。〔同上〕</p>	<p>多好氏〔五位〕</p> <p>在：右一者。〔実所〕</p>	
	<p>源貞久〔一〕</p> <p>任：小除目において左近将監に任ず。〔同上〕</p>	<p>大神式賢〔一〕</p> <p>在：〔実所〕</p>	
	<p>安治資澄〔一〕</p> <p>任：小除目において權奥礼服功により左近将監に任ず。〔民経〕嘉禄2・8・14)</p>		
	<p>紀宗綱〔一〕</p> <p>任：小除目において最勝功により左近将監に任ず。〔同上〕</p>		
	<p>拍近真〔五位〕</p> <p>在：〔近実〕につくる。左一者。〔実所〕</p>		
	<p>尾藤景綱〔一〕</p> <p>在：〔吾妻〕嘉禄2・10・12)</p>		
	<p>三条親実〔五位〕</p> <p>在：〔左近大夫将監〕。〔吾妻〕嘉禄2・10・28)</p>		

	源家平〔五位〕	在：〔吾妻〕嘉祿2・12・10)				
	源兼邦〔一〕	在：〔民経〕安貞1・4・14)	多好氏〔五位〕	在：右一者。〔樂所〕		
	源教行〔一〕	在：判官代。(同上)	大神式賢〔一〕	在：〔樂所〕		
安貞元年(1227)	拍光真〔五位〕	在：「光真」につくる。左一者。(樂所)				
	尾藤景綱〔一〕	在：〔吾妻〕安貞1・5・10)				
	遠藤為俊〔一〕	在：〔吾妻〕安貞1・11・24)				
	拍光真〔五位〕	在：「光真」につくる。左一者。〔左近大夫〕。〔狛鷹〕安貞2・3・4。〔樂所〕	多好氏〔五位〕	在：右一者。〔左近大夫〕。〔狛鷹〕安貞2・3・4。〔樂所〕		
	拍道房〔一〕	在：左二者。(同上)	大神宗賢〔一〕	在：樂入一者。(同上)		
	多久行〔一〕	在：右二者。〔左近將監〕。(同上)				
安貞2年(1228)	藤原季頼〔五位〕	在：〔左近大夫〕。〔吾妻〕安貞2・9・13)				
	三条親実〔五位〕	在：〔左近大夫〕。〔吾妻〕安貞2・7・23)/〔左近大夫將監〕。〔吾妻〕同2・10・26)/〔左近大夫〕。〔吾妻〕同2・10・30)				
	遠藤為俊〔一〕	在：〔吾妻〕安貞2・7・23)				
	藤原時長〔一〕	在：〔明月〕寛喜1・4・19)	藤原能行〔一〕	在：〔明月〕寛喜1・4・19)		
	清原能成〔一〕	在：臨時小除目において「真言院臨時功」により、左近將監に任ず。〔明月〕寛喜1・7・14)	藤原遠経〔一〕	在：「臨時」により右近將監に任ず。〔明月〕寛喜1・4・19)		
	藤原光成〔一〕	在：除目において左近將監に任ず。藏人。〔明月〕寛喜1・10・6)	藤原良兼〔一〕	在：除目において「臨時」により、右近將監に任ず。〔明月〕寛喜1・10・6)		
	藤原行実〔一〕	在：除目において「臨時」により、左近將監に任ず。藏人。(同上)	平綱朝〔一〕	在：〔北野大政所〕により右近將監に任ず。〔明月〕寛喜1・10・10)		
寛喜元年(1229)	中原盛経〔從五位下〕	在：除目において「初斎宮」により、左近將監に任ず。右近將監にも同姓同名の人物の任官あり。誤りあるか。〔明月〕寛喜1・10・6)/寂時。〔明月〕同1・10・10)	姪不詳)忠光〔一〕	在：〔頼家御能野詣記〕寛喜1・10・26)		
	姪不詳)重実〔一〕	在：〔明月〕寛喜1・11・4)	姪不詳)景俊〔一〕	在：〔同上〕		
	拍光真〔五位〕	在：左一者。(樂所)	多好氏〔五位〕	在：右一者。(樂所)		
	横尾(名不詳)〔一〕	在：神樂秘曲を習わんがために多好方のもとへ遣わさる。〔吾妻〕寛喜1・9・9)	多好方〔一〕	在：〔吾妻〕寛喜1・9・9)		
	源カ信政〔一〕	在：〔明月〕寛喜2・2・22)	樂兼基〔一〕	在：將曹より右近將監に任ず。〔明月〕寛喜2・2・24)		
	樂久清〔一〕	在：將曹より左近將監に任ず。〔明月〕寛喜2・2・24)/久清を元の如く御隨身となすべき由の仰せあり。〔明月〕同2・3・6)/久清父子密々召渡御前。〔明月〕同2・6・21)/召次基。(移他)諸院宮御移徙部類記/召次基。(明月)同2・12・8)	藤原定宗〔一〕	在：祭除目において左近將監に任ず。〔明月〕寛喜2・3・21)		
寛喜2年(1230)	藤原光成〔一〕	在：藏人。(明月)寛喜2・11・22)	多好氏〔五位〕	在：右一者。(樂所)		
	源兼綱〔一〕	在：藏人。(同上)				
	拍光真〔五位〕	在：左一者。2月、御春日詣において、賞を蒙る。(樂所)				
	尾藤景綱〔一〕	在：〔尾藤左近入道〕。〔吾妻〕寛喜2・1・26)				
	大江佐房〔五位〕	在：〔左近大夫將監〕。〔吾妻〕寛喜2・5・24)				

	安藤(名不詳)〔一〕	任：〔吾妻〕寛喜2・5・27)			
	藤原實綱 〔一〕	任々：元右近。(〔明月〕寛喜3・1・1)			
	藤原頼季 〔一〕	任々：「左近藏人」。(〔明月〕寛喜3・7・6)			
	藤原光成 〔一〕	任：藏人。(〔民経〕寛喜3・1・3)/(〔藤原〕 四条天皇)			
	源兼綱 〔一〕	任：藏人。(〔民経〕寛喜3・1・24)			
	高階實忠 〔一〕	任：除目において大将請により左近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・1・29)			
	藤原範重 〔一〕	任：除目において臨時内給により左近将監に任ず。(同上)			
	平国長 〔一〕	任：除目において臨時内給により左近将監に任ず。(同上)			
	橘行宗 〔一〕	任：除目において「新日吉杜功」により左近将監に任ず。(同上)			
	高階仲定 〔六位〕	任：除目において臨時内給により左近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・1・29)/鳴弦六位官人。(〔民経〕同3・2・13)			
寛喜3年(1231)	菅原俊澄 〔一〕	任：春除目において臨時内給により左近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・2・5)			
	大江之尚 〔一〕	任：春除目において興福寺南円堂修理功により左近将監に任ず。(同上)			
	藤原信繼 〔一〕	任：春除目において左近将監に任ず。(同上)			
	藤原経重 〔一〕	任：春除目において臨時内給により左近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・2・5)			
	源能行 〔一〕	任：春除目において「春日行幸神宝功」により左近将監に任ず。(同上)			
	(姓不詳)長繼 〔六位〕	13) 任：鳴弦六位官人。(〔民経〕寛喜3・2・13)			
	藤原家茂 〔一〕	任：臨時除目において左近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・3・25)			
	藤原光近 〔一〕	任：臨時除目において左近将監に任ず。(同上)			
	高階業時 〔一〕	任：臨時除目において左近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・3・25)/非藏人。(〔明月〕同3・7・29)			
	藤原能国 〔一〕	任：(〔民経〕寛喜3・3・28)			
	多好善 〔一〕	任：右近将監に任ず。(〔集所])			
	源兼氏 〔一〕	任々：〔明月〕寛喜3・1・1)/(〔民経〕同3・4・19)/「左近将監」。(〔民経〕同3・4・24)			
	安部国吉 〔一〕	任々：「南円堂修理功」により右近将監に任ずるか。(同上)			
	藤原宗基 〔一〕	任々：「右近藏人」。(〔明月〕寛喜3・7・6)			
	橘頼盛 〔一〕	任：除目において遣外宮功により右近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・1・29)			
	藤原宗政 〔一〕	任：除目において臨時内給により右近将監に任ず。(同上)			
	源實房 〔一〕	任：除目において臨時内給により右近将監に任ず。(同上)			
	平信房 〔一〕	任：春除目において「七仏薬師法難具功」により右近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・2・5)			
	藤原重広 〔一〕	任：春除目において「御所功」により右近将監に任ず。(同上)			
	藤原信倫 〔六位〕	任：春除目において右近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・2・5)/鳴弦六位官人。(〔民経〕同3・2・13)			
	大中臣友景 〔一〕	任：春除目において右近将監より左近将監に転任する。(〔民経〕寛喜3・2・5)			
	(姓不詳)兼氏 〔六位〕	13) 任：鳴弦六位官人。(〔民経〕寛喜3・2・13)			
	藤原時賢 〔一〕	任：臨時除目において右近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・3・25)			
	藤原重国 〔一〕	任：臨時除目において右近将監に任ず。(同上)			
	藤原俊国 〔一〕	任：臨時除目において右近将監に任ず。(同上)			
	中原友高 〔一〕	任：(〔民経〕寛喜3・3・28)			
	藤原頼清 〔一〕	14) 任：祭除目において法隆寺西堂堂の功により右近将監に任ず。(〔民経〕寛喜3・4・14)			
	源国元 〔一〕	任：祭除目において「石清水臨時祭功」により右近将監に任ず。(同上)			
	中原延光 〔一〕	任：祭除目において「円宗寺修理用途功」により右近将監に任ず。(同上)			

兼久清 [-]	任：召次郎。「左近將監」。(『民経』寛喜3・4・8) / 藤原道家の隨身にあらずして、本府に侍り、もとのごとく左近將監に任ず。(『民経』同3・4・9) / 隨身。(『民経』同3・4・17) / 中宮御座の時、宿願により北野右近馬場において駿馬を行う。(『民経』同3・6・17) / 伊勢朝使職の下知あり所労を申すも重はて下知あり。(『民経』寛喜3・9・16) / 後院左召次。伊勢朝使職。(『民経』同3・9・25) / 後院召次長。(『民経』同3・10・8)		藤原為信 [-]		任：祭除目において「外官役夫工米清功」により右近將監に任ず。(同上)	
	(姓不詳) 為幸 [-]	任：藏人。(『民経』寛喜3・4・9)		藤原能行 [-]	任：祭除目において「御所功」により右近將監に任ず。(『民経』寛喜3・4・14)	
	藤原延家 [-]	任：祭除目において「大学寮角明神功」により左近將監に任ず。(『民経』寛喜3・4・14)		源貞元 [-]	任：祭除目において父時隆判部丞を辞すにより右近將監に任ず。(同上)	
	藤原尚綱 [-]	任：祭除目において「図書寮鐘功」により左近將監に任ず。(同上)		源仲能 [-]	任：除目において「父重弘罷左近將監上、南殿御設経功」により右近將監に任ず。(『民経』寛喜3・4・28)	
	平家守 [-]	任：祭除目において「中宮御座御所七仏薬師功」により左近將監に任ず。(『民経』寛喜3・4・14) / 興福寺蓮華会のため三社のうち吉田社への奉幣使を勤む。(『民経』同3・10・8)		源康長 [-]	任：除目において臨時内給により右近將監に任ず。(『民経』寛喜3・4・28)	
	中原成村 [-]	任：祭除目において刑部丞推宗資守辞すにより左近將監に任ず。(『民経』寛喜3・4・4)		藤原俊重 [-]	在：(『民経』寛喜3・11・11)	
	大中原政明 [-]	任：祭除目において臨時内給により左近將監に任ず。(同上)		多好氏 (五位)	在：右一者。(『案所』)	
	紀道信 [-]	任：祭除目において「仁寿殿観音仏所功」により左近將監に任ず。(同上)				
	平家綱 [-]	任：除目において「刑部丞源季止職上・功」により左近將監に任ず。(『民経』寛喜3・4・28)				
	中原宗景 [-]	任：除目において「弥勒寺功」により左近將監に任ず。(同上)				
貞永元年(1232)	藤原為頼 [-]	任：除目において臨時内給により左近將監に任ず。(同上)				
	中原親直 [-]	任：小除目において「春日行幸功」により左近將監に任ず。(『民経』寛喜3・6・6)				
	藤原定宗 [-]	在：藏人。(『民経』寛喜3・11・3)				
	中原康俊 [-]	在：左一者。(『案所』)				
	拍光真 (五位)	在：「左近大夫將監」。(『吾妻』寛喜3・1・24)				
	大江佐房 (五位)					
	宅磨為行 [-]	在：藤原頼経御願寺地点の図絵を描く。(『吾妻』寛喜3・10・6)				
	拍光真 (五位)	在：拍光近孫子。(『案所』)		多好氏 (五位)	在：多好節男。(『案所』)	
	拍近房 [-]	在：判明近男。(『案所』)		大神式賢 (一)	在：大神宗賢男。(『案所』)	
				中原成村 (一)	在：兼右少史。(『間風』貞永1・10・4)	

天福元年(1233)	拍定近〔一〕	在：第1期男房。(〔梁所〕)	多久行〔一〕	在：多節近男。(〔梁所〕)	
	拍近眞〔一〕	在：第1期眞卿男。(〔梁所〕)	大神景基〔一〕	在：大神景實男。(〔梁所〕)	
	藤原定宗〔六位〕	在：〔民経〕貞永1・2・4／四条天皇六位藏人となす。(〔民経〕同1・10・4)	多好繼〔一〕	在：多好節二男。(〔梁所〕)	
	平時光〔一〕	在：除目下名において「平等院功」により左近将監に任ず。(〔民経〕貞永1・2・7)	多好孝〔一〕	在：多好氏男。(〔梁所〕)／在：内侍所御神楽において、舞人の貴により右近将監に任ず。「香代之御願、嚴重之威儀」とあり。(〔民経〕貞永1・4・14)	
	源忠久〔一〕	在：除目下名において「書物功」により左近将監に任ず。(同上)	藤原国清〔一〕	在：除目除目下名において「立坊功」により右近将監に任ず。(〔民経〕貞永1・2・7)	
	平秀氏〔一〕	在：除目下名において「細殿功」により左近将監に任ず。(同上)	惟宗孝選〔一〕	在：除目下名において右近将監に任ず。(同上)	
	藤原包中〔一〕	在：除目下名において「春日御答功」により左近将監に任ず。(同上)	平宗兼〔一〕	在：除目下名において右近将監に任ず。(同上)	
	源兼綱〔一〕	在：藏人。(〔民経〕貞永1・3・19)／四条天皇朝官代となす。(〔民経〕同1・10・4)	權宣光〔一〕	在：除目下名において臨時内給により右近将監に任ず。(同上)	
	藤原清房〔一〕	在：直物において「去年賀茂臨時祭功」により左近将監に任ず。(〔民経〕貞永1・3・24)	藤原光永〔一〕	在：任假負尉を申す。(〔民経〕貞永1・3・2)	
	平實光〔一〕	在：直物において「朝觀行幸内藏寮功」により左近将監に任ず。(同上)	平公長〔一〕	在：直物において「外宮役主工功」により右近将監に任ず。(〔民経〕貞永1・3・24)	
	藤原友弘〔一〕	在：祭除目において「御祈功」により左近将監に任ず。(〔民経〕貞永1・4・11)	藤原正光〔一〕	在：右近将監に任ず。(同上)	
	平家盛〔五位〕	在：「左近大夫将監」。(〔民経〕貞永1・7・10)	大中臣助俊〔一〕	在：祭除目において「仁寿殿功」により右近将監に任ず。(〔民経〕貞永1・4・11)	
	權實俊〔一〕	在：除目において「中宮御差御祈功」により左近将監に任ず。(〔民経〕貞永1・⑨・27)	源兼氏〔六位〕	在：藏人。(〔民経〕貞永1・⑨・27)／四条天皇六位藏人となす。(〔民経〕同1・10・4)	
	大仲長吉〔一〕	在：除目において「臨時内給」により左近将監に任ず。(同上)	平家氏〔一〕	在：除目において「多武峯宗理功」により右近将監に任ず。(〔民経〕貞永1・⑨・27)	
	平忠重〔從五位上〕	在：叙位。(同上)	藤原国康〔一〕	在：除目において「御祈功」により右近将監に任ず。(同上)	
	高階業時〔一〕	在：非藏人。(〔民経〕貞永1・10・3)			
	高階仲時〔一〕	在：非藏人。(同上)			
	菅原高正〔一〕	在：非藏人。(同上)			
	尾藤景綱〔一〕	在：「左近入道」。(〔吾夷〕貞永1・8・9)			
	源親賢〔五位〕	在：「左近大夫」。(〔明月〕天福1・3・24)／近衛少将府藤原兼任により为藤原なるか。『号左近藏人摂津国源氏』とあり。(〔民経〕同1・6・13)	〔姓不詳〕實盛〔五位〕	在：「右近大夫将監」。(〔明月〕天福1・8・6)	
	平家守〔五位〕	在：「左近大夫将監」。(〔明月〕天福1・8・6)	源業長〔一〕	在：春除目において右近将監に任ず。(〔民経〕天福1・1・25)	
	高階業時〔一〕	在：藏人。(〔民経〕天福1・1・13)	大藏種兼〔一〕	在：春除目において右近将監に任ず。(同上)	
	源兼綱〔一〕	在：「左近大夫将監」。(〔民経〕天福1・1・22)	藤原恒高〔一〕	在：春除目において右近将監に任ず。(同上)	
	〔姓不詳〕茂盛〔一〕	在：〔〔民経〕天福1・1・24〕	藤原宗仲〔一〕	在：春除目において右近将監に任ず。(同上)	
	平俊基〔一〕	在：春除目において左近将監に任ず。(〔民経〕天福1・1・25)	藤原仲時〔一〕	在：春除目において右近将監に任ず。(〔民経〕天福1・1・25)／藏人。(〔民経〕同1・5・9)	

	平成景 (一)	任：春除目において左近将監に任ず。(同上)	大中臣景忠 (一)	任：春除目下名において「中宮御入内藏人方功」により右近将監に任ず。(『民経』天福1・1・28)		
	源宗良 (一)	任：春除目において左近将監に任ず。(同上)	惟宗範家 (一)	任：春除目下名において「平野社金物功」により右近将監に任ず。(『民経』天福1・1・28)		
	平高輔 (一)	任：春除目において左近将監に任ず。(同上)				
	大中臣清経 (一)	任：春除目において「大將請」により左近将監に任ず。(同上)				
	大中臣通清 (一)	任：春除目下名において「外宮役夫工功」により左近将監に任ず。(『民経』天福1・1・28)				
	中原秀清 (一)	任：春除目下名において「稻荷二階社功」により左近将監に任ず。(同上)				
	信濃(名不詳)(一)	任：(『吾妻』天福1・1・2)				
文暦元年(1234)	大江佐房 (五位)	任：「左近大夫将監」。(『吾妻』文暦1・3・5)			(姓不詳)忠任 (五位)	任：「大夫将監」。(『明月』文暦1・2・9)
	尾藤景綱 (一)	故：「左近将監入道」。(『吾妻』文暦1・3・5) / 死去。(『吾妻』同1・8・21)				
	備中重氏 (五位)	任：「左近大夫」。(『吾妻』嘉禄1・12・24)	(姓不詳)行兼 (一)	任：「右近将監」。(『明月』嘉禄1・10・20)	(姓不詳)忠保 (五位)	任：「大夫将監」。(『明月』嘉禄1・2・9)
	大江佐房 (五位)	任：(『吾妻』嘉禄1・2・15)	(姓不詳)近盛 (一)	任：「左近将監」。(『明月』嘉禄1・12・9)		
嘉禄元年(1235)	武藤兼頼 (一)	任：(『吾妻』嘉禄1・2・18)	多好節 (一)	任：鶴岡八幡宮放生会舞楽のために召し仰せあるも代わりに多好継を遣わす。(『吾妻』嘉禄1・6・24)		
嘉禄2年(1236)	備中重氏 (五位)	任：「左近大夫」。(『吾妻』嘉禄2・8・4)	多好節 (一)	任：北条泰時に和季太僧などを進上す。(『吾妻』嘉禄2・2・14)		
	源兼綱 (五位)	任：「右近大夫」。(『兼黄』嘉禄3・1・14) / 「左近大夫」。(『玉蕊』同3・1・14)	源盛重 (一)	任：藏人。(『玉蕊』嘉禄3・3・19)		
嘉禄3年(1237)	(姓不詳)季頼 (一)	任：(『玉蕊』嘉禄3・3・5)				
	(姓不詳)兼頼 (五位)	任：左近大夫。(『玉蕊』嘉禄3・4・16)				
	北条経時 (五位)	任：「大夫将監」。(『吾妻』嘉禄3・4・22)				
	中原景康 (一)	任：(『吾妻』嘉禄3・7・8)				
	(姓不詳)盛繼 (一)	任：(『玉蕊』暦仁1・1・26)	北条時定 (五位)	任：北条時房六男。(『玉蕊』暦仁1・6・1) / 「右近大夫」。(『玉蕊』同1・6・5)	(姓不詳)仲定 (五位)	任：大夫将監。(同上)
	(姓不詳)忠茂 (五位)	任：左近大夫。(『玉蕊』暦仁1・4・7) / 「御府長」。九条頼経隨身。(『経後』同1・4・7)	藤原教義 (一)	任：藏人。(『民経』暦仁1・5・15)	(姓不詳)實盛 (五位)	任：大夫将監。(同上)
	兼久清 (一)	任：御府長。(『玉蕊』暦仁1・4・7) / 「御府長隨身」。九条頼経隨身。(『経後』同1・4・7)	多好幸 (一)	故：「[築所]」	(姓不詳)範春 (五位)	任：「範■」。大夫将監。(『玉蕊』暦仁1・4・10) / 「左近大夫」。(『民経』同1・11・11)
暦仁元年(1238)	北条経時 (五位)	任：「大夫将監」。(『吾妻』暦仁1・1・2) / 「北条安時嫡孫」。(『玉蕊』同1・6・1) / 「左近大夫」。(『玉蕊』同1・6・5)	藤原泰延 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(『経後』暦仁1・4・20)		
	藤原季頼 (五位)	任：「左近大夫将監」。(『民経』暦仁1・11・11)	平茂綱 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	都築(名不詳)(一)	任：(『吾妻』暦仁1・2・17)	藤原国平 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	相閑(名不詳)(一)	任：(同上)	藤原實村 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	小野澤仲実 (五位)	任：「左近大夫」。(同上)	源季長 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	大江佐房 (五位)	任：「少輔左近大夫将監」。(同上)	菅原行家 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		

	藤原広村 (一)	任：除目において左近将監に任ず。〔経後〕 暦仁1・4・20)	源義成 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	平為保 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	源習 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	中原守久 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	藤原基貞 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	中原種光 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
延応元年(1239)	北条経時 (五位)	任：〔吾妻〕延応1・1・2)	北条時定 (五位)	在：〔相模右近大夫将監〕。〔吾妻〕延応1・1・1)		
	藤原盛隆 (一)	任：除目において左近将監に任ず。〔平戸〕 仁治1・1・22)	藤原重繼 (一)	任：除目において右近将監に任ず。〔平戸〕 仁治1・1・22/ 除目において〔御更衣功〕 により、右近将監に任ず。〔平戸〕同2・ 4・6)	菊近真 (一)	任：一者。〔築所〕
	日事能久 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	藤原雅平 (一)	任：除目下名において右兵衛佐より右近将監 に任ず。〔平戸〕仁治1・1・22)		
	藤原光能 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	藤原助家 (一)	任：除目下名において右近将監に任ず。(同 上)		
	藤原宗清 (一)	任：除目下名において左近将監に任ず。(同 上)	田部行吉 (一)	任：除目下名において〔公卿勅使功〕に上 り、右近将監に任ず。〔平戸〕仁治1・4・ 6)		
	藤原弘村 (一)	任：除目下名において左近将監に任ず。(同 上)	藤原為定 (一)	任：除目において右近将監に任ず。〔平戸〕 仁治1・12・5)		
	藤原広光 (一)	任：除目において〔脩奏〕により、左近将監 に任ず。〔平戸〕仁治1・4・6)	藤原守信 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	(姓名不詳) (一)	任：〔綱〕とあり。除目において〔尚侍御入 内助〕により、左近将監に任ず。(同上)	藤原重尚 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	藤原国時 (一)	任：除目において〔黄宮寮功〕により、左近 将監に任ず。(同上)	神原景澄 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
仁治元年(1240)	源重近 (一)	任：除目において〔神祇官功〕により、左近 将監に任ず。(同上)	藤原能久 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	中原實重 (一)	任：除目において左近将監に任ず。〔平戸〕 仁治1・12・5)	堀忠茂 (一)	任：除目において右近将監に任ず。〔平戸〕 仁治1・12・18)		
	藤原義基 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	堀久實 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	紀頼綱 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	榮景忠 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	大中臣家俊 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	源茂重 (一)	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	内蔵宗利 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	大神定實 (一)	故：〔築所〕		
	穗井宗清 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	多久實 (一)	任：12月除目において右近将監に任ず。〔築 所〕		
	藤原行長 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	中条(名不詳) (五位)	在：〔右近大夫将監〕。〔吾妻〕仁治1・8・ 2)		
	平實員 (一)	任：除目において左近将監に任ず。〔平戸〕 仁治1・12・18)				
	平延盛 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	橘氏治 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	中原忠時 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	小野清兼 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	大江忠重 (一)	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				

	藤原広時〔一〕	任：除目において左近将監に任ず。(同上)				
	柏宗近〔一〕	任：〔樂所〕	豊原好秋〔一〕	任：6月臨時除目において右近将監に任ず。 別除目において、左近侍に渡る。〔樂所〕	柏近真〔五位〕	在：叙留。〔樂所〕
	大神延實〔一〕	任：6月臨時除目において左近将監に任ず。 〔樂所〕				
仁治2年〔1241〕	豊原近秋〔一〕	任：6月臨時除目において右近将監に任ず。 〔樂所〕				
	北条経時〔五位〕	在：〔左近大夫将監〕。〔吾妻〕仁治2・1・1)				
	大江佐房〔五位〕	在：〔少輔左近大夫将監〕。〔吾妻〕仁治2・8・25)				
	藤原有光〔一〕	任：除目において左近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・3・7)	源則長〔一〕	任：蔵人。除目において右近将監に任ず。 〔平戸〕仁治3・3・7) / 〔左近将監〕。〔玉蕊〕同3・3・24) / 左近に渡る。〔平戸〕同3・4・9)	中原行実〔一〕	任：除目において将監に任ず。〔平戸〕仁治3・4・9)
	源兼頼〔一〕	任：蔵人。除目において左近将監に任ず。 〔平戸〕仁治3・4・9)	藤原時実〔一〕	任：蔵人。除目下名において右近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・3・8)		
	藤原仲信〔一〕	任：蔵人。小除目において左近将監に任ず。 〔平戸〕仁治3・6・15)	平康氏〔一〕	任：除目において右近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・10・3)		
	堀以時〔一〕	任：蔵人。除目において左近将監に任ず。 〔平戸〕仁治3・10・3)	藤原吉盛〔一〕	任：除目において「功」により、右近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・11・6)		
	惟宗重高〔一〕	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	中原盛親〔一〕	任：除目において「功」により、右近将監に任ず。(同上)		
	藤原範良〔一〕	任：除目において左近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・10・18)	藤原重名〔一〕	任：除目において右近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・12・25)		
	源宗房〔一〕	任：除目において「主基大嘗会功」により、左近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・11・6)	多能世〔一〕	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
仁治3年〔1242〕	大中臣俊忠〔一〕	任：除目において「主基大嘗会功」により、左近将監に任ず。(同上)	藤原仲繼〔一〕	任：除目において右近将監に任ず。(同上)		
	大中臣繁長〔一〕	任：除目において「臨時功」により、左近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・12・25)	小野為末〔一〕	任：除目下名において「御藏行事所功」により、右近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・12・26)		
	惟宗光村〔一〕	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	中原能成〔一〕	任：除目下名において「元三替物功」により、右近将監に任ず。(同上)		
	柏近氏〔一〕	任：除目において左近将監に任ず。(同上)	藤原重尚〔一〕	在：後醍醐天皇即位の叙位において六位に叙す。〔民経〕仁治3・3・15)		
	藤原俊定〔一〕	任：除目下名において「大嘗会主基斎場所功」により、左近将監に任ず。〔平戸〕仁治3・12・26)	多好世〔一〕	任：右近将監に任ず。〔樂所〕		
	源仲尚〔一〕	任：除目下名において左近将監に任ず。(同上)				
	平光長〔六位〕	在：後醍醐天皇即位の叙位において六位に叙す。〔民経〕仁治3・3・15)				
	源則長〔一〕	在：蔵人。〔民経〕仁治3・8・9)				